

派遣報告：第36班

H23年11月8日-11日

中山 秀紀 医師

小林久美枝 副看護師長

小幡 真希 心理療法士

活動の概要

- 活動期間
 - 平成23年11月8日(火)～11月11日(金)
- 活動地域
 - 大船渡市(大船渡町、末崎町、赤崎町、三陸町綾里)
- 活動内容
 - 仮設住宅・自宅などの訪問相談
 - 「こころの相談室」@合同庁舎担当
 - 大船渡病院精神科Dr./保健師等との連携
- 宿泊地:一関グリーンホテル(一ノ関駅前)
 - 大船渡まで:陸路284号利用(気仙沼経由)で2～2.5H

ケース内訳

症状	件数 (訪/相/tel)	継続 (M/F)	新規 (M/F)	処方	備考
アルコール問題	5 (4/0/1)	4/0	0/1	0	飲酒日記(1) 血圧日記(1) MMSE・HDS-R施行(1)
PTSD	1 (0/1/0)	0/1	-	1	-
うつ・うつ状態	4 (2/2/0)	1/0	1/2	2	児童支援センター連絡先
認知症	1 (1/0/0)	-	0/1	0	MMSE・HDS-R施行(1) 紹介状作成(1)

水曜ミーティング@保健介護センター

- 参加チーム

ろっこう医療生協、あいちネット、相模原市、
保健所、社会保険協議会、保健センター、
大船渡病院、薬剤師会

- 主な内容

- 暖房器具の配付開始(仮設、見なし仮設)
- 救急箱の配付
- インフルエンザ予防注射の助成(65歳以上)
- 大船渡病院担当医より、罹病等の状況報告 他

まとめ

- 大船渡病院精神科Dr.との連携
 - 久里浜対応ケースを地元医療機関につなぐために、今後も密に連携が必要と思われます。
- ケース数の増加:「うつ・うつ病」
 - 震災から8か月:仮設入居後3~4か月ほど生活面『一区切り』で、身体的・精神的な疲労・疲弊の蓄積が表れてきている様子でした。
 - 季節の変化:朝晩は1~2°Cまで冷え込み、震災発生時の季節へ移行し始め、震災を振り返ることもひとつかと推測します。
- 震災前からのケース
 - 地元医療機関へ繋ぐ:被災によるものではないが、保健師把握の困難ケースに対して自宅訪問。受け入れる側も抵抗少なく、医療機関に繋ぐためのワンクッションとなっているようです(短期フォローで終了見込み)。

岩手県大船渡市 被災人的被害 (H23年12月7日現在)

死者339人、行方不明者91名

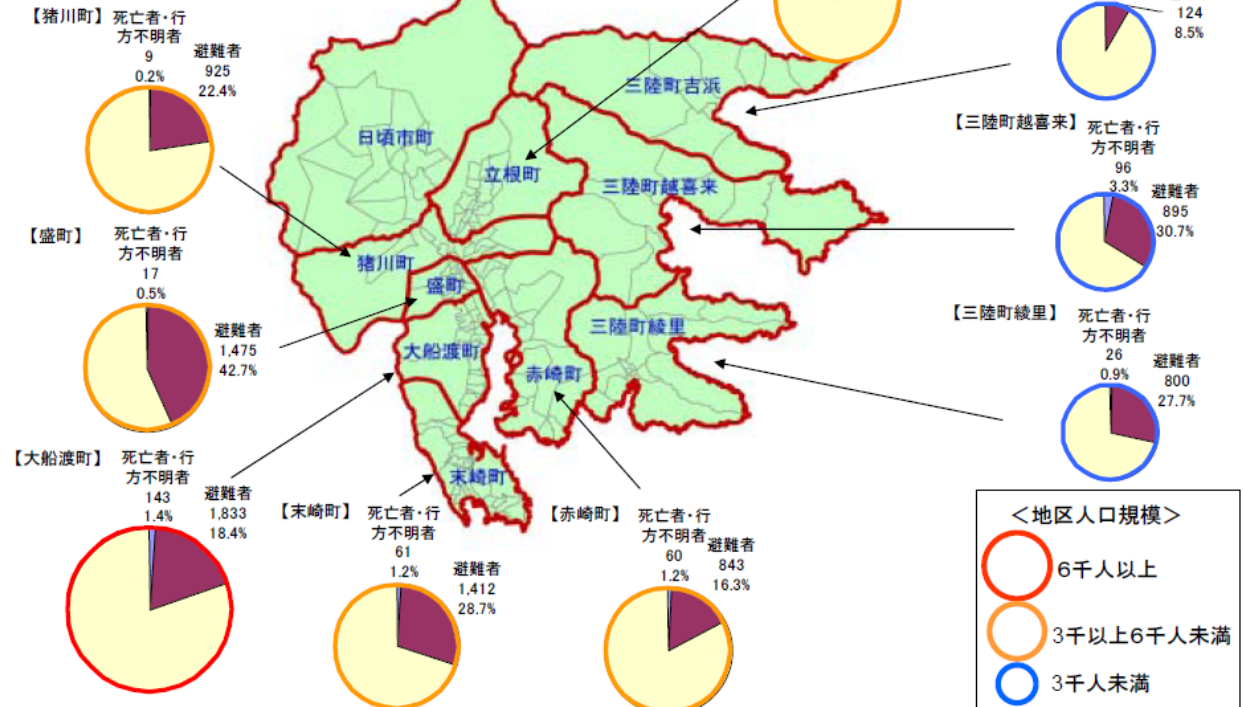
参考資料: 市内の地区町名立地を表すために以下地図を参考提示としました。

1. 大船渡市全域の被害状況

○地区別被災人口

- ・大船渡町の死亡者・行方不明者は100人を超える。
- ・明治三陸津波で甚大な被害を受けた吉浜は、家屋が高台に立地しているため被害の拡大を防ぐことができた。

死亡者・行方不明者: 平成23年5月6日現在
避難者: 平成23年3月14日現在



出所: 大船渡市「被害状況の報告について 資料2」(H23年5月12日)